

# 令和2年 行政連絡員のご紹介

市では、各区の区長さんを「行政連絡員」に委嘱しました。行政連絡員の皆さんには、市民と市のパイプ役として、広報紙や回覧文書による市政情報の周知など、さまざまな業務をお願いすることになります。

各区の行政連絡員は、次の皆さんです。(行政区順、敬称略)

問合せ 総務課 行政G ☎ 73-8004

行政区名	氏名	行政区名	氏名	行政区名	氏名	行政区名	氏名
舟津温泉	立尾 章英	河 間	吉江 清治	馬 場	齋藤 憲之	上 野	竹原 正彦
二面温泉	長谷川 巧	河 水 苑	伊豆藏英敏	春 日	野尻 幹夫	名 泉 郷	林田 和三
田中温泉	手塚 和典	宮前公文	東 龍二	榛ノ木原	土田 政信	東 山	北 廣見
東 温 泉	増木 眞二	北 本 堂	篠崎 陽一	中 央	能美 進	後 山	市嶋 昌彦
西 温 泉	山崎 義直	角 屋	小木 隆輔	北 稻 越	谷川 吉弘	清 滝	長谷部博司
舟 津	山崎 康正	中 浜	田畑 智志	向ヶ丘	岡本三喜男	鎌 谷	畑 秀雄
二 面	宮崎 修	北 湯 東	清水 一美	若 葉 台	吉川 泰夫	櫛	宗石 健一
牛 山	坂井 幹夫	北 湯 西	古橋 照夫	桜ヶ丘	武田 忠男	権 世	古畑 正人
松 影	寺木 隆二	赤 尾	西出 義雄	新みどり	八木 耕作	権世市野々	宇城由紀夫
国 影	山本 誠一	富 津	安永 俊信	伊 井	圓道 信雄	滝	荒崎 壽意
新 成	北風 俊彦	浜 坂	坂井 良次	古屋石塚	深川 義男	青ノ木	宮下 守夫
井江葎	廣瀬清一郎	波 松	東川 継央	桑 原	谷本 孝行	宮 谷	塚田 倫一
横 垣	(未定)	城	山岸 敏弘	清 間	廣部 林	山 室	東 幹雄
宮 王	横井 伸一	城新田	山口 稔	矢 地	北嶋 慶三	高 塚	杉本 利雄
桜	浅野 幸康	番堂野	竹澤伊佐男	菅 野	青木 恒久	清 王	西 隆次
重 義	松永 保夫	十 三	山岸 純一	南 稻 越	坂野 浩幸	山西方寺	細川 代一
番 田	大塚 和博	新	吉川 勝雄	河原井手	廣部 昇弘	柿 原	山口 義雄
田中々	北風 慶行	古	達川 昌美	池 口	中野 守	山十楽	糠見ゆかり
堀江十楽	川崎 善徳	東	高木 四郎	中 川	松嶋 美治	坂 口	堀川 誠一
布 目	近藤 秋実	六 日	稲田 秀治	東 田 中	山口 雄二	蓮ヶ浦	杉田 光良
轟 木	安父 正之	旭	仲野 豊	瓜 生	加藤 秀信	細 呂 木	坂本 拓男
新 田	伊藤 久信	新 富	西田 芳夫	南 疋 田	山元三千夫	橋 屋	清水 義和
東善寺	加藤 円	天 王	中本 耕二	北 疋 田	北嶋 友宏	樋 山	山田 國雄
谷 畠	坪田 利弘	水 口	石川 和夫	次 郎 丸	本田 敏明	指 中	谷口 幸則
上 番	高宮 正純	十 日	坪田 達夫	御 簾 尾	海老田照男	沢	高宮 一浩
根上り	南保 隆男	脇 出	聒田 勝	北 野	牧田 宏治	嫁 威	工藤 弘幸
仏徳寺	中嶋 由昭	上 八 日	川道 清志	北	児島 文男	細呂木駅前	細川 博治
翠 明	碓 佳宏	八 日	黒田 進	前 谷	土成 正行	日 の 出	吉田 一展
光 明	中沢 俊昭	下 八 日	安田 俊雄	笹 岡	丸子 晋一	吉 崎 1	七野 和夫
御 鷹	大針 芳美	坂ノ下	藤田 義治	熊 坂	竹内 幸雄	吉 崎 2	末富 攻
中 番	浅井 辰雄	稻 荷 山	矢野 博	下 金 屋	南川 幸一		
下 番	齋藤 力男	千 束	森 雅規	畝市野々	林 郁夫		
玉 木	石黒 裕一	新 用	小西 武則	牛ノ谷	山本 一次		

## 令和元年度 集落ときめき活動事業補助金の活用状況

新たに創設した補助金を活用して、さまざまな集落の主体的な取り組みが行われました。

### 実施件数

22 集落 (うち連携事業 1 件)

### 申請状況 (令和2年1月現在)

	事業費	交付決定額
前期	172万6031円	119万5000円
後期	406万8038円	267万8000円
合計	579万4069円	387万3000円

### 主な補助内容

#### 【集いの場づくり】

- ・高齢者用の座椅子の購入
- ・集会場の空調設備の整備
- ・役員の高齢化などに対応するため、簡易テントの購入

#### 【集落コミュニティの活性化】

- ・集落内を流れる河川を活用したダックレースの開催

#### 【人口減少対策と空き家や空き地の活用】

- ・空き家を管理するため、竹伐採用チェーンソーの購入

#### 【交通手段の充実】

- ・乗合タクシーの停留場に雨除けの設置

#### 【ふるさとへの愛着や誇りの醸成】

- ・中山間地の魅力PRのため、コスモス畑の整備および写生大会の開催
- ・子どもたちに祭りに参加してもらうための法被の新調



## 令和元年度 担い手づくりセミナーの開催状況

集落活性化のためのセミナーを開催し、担い手の育成を行いました。

### まち・むらときめきシンポジウム (4月21日)

講演 「地元を作り直す時代～持続可能な地域社会へ～」

- 概要
- ・持続可能な地域社会を形成するため、人口や所得の1%を集落に取り戻すことが重要
  - ・定住促進を図るための地区の特徴を生かした具体的な取り組みを共有することが有効
  - ・地域外へ流出する消費を、地元からの仕入れなどに転換するなどの仕組みづくりが必要

### 「防災に強い集落づくり」セミナー (8月18日)

講演 「地域主導の避難所とは～東日本大震災からの教訓～」

- 概要
- ・災害には最大の危機感と想定以上の備えで命を守ることを念頭に
  - ・被災時に避難所にいることのできる人間が、防災リーダーを務めることが望ましい
  - ・避難所運営は、小学生・中学生・高校生などにも役割を与え、地域を巻き込んだ体制の構築が有効

### 「健康づくり」セミナー (9月28日)

講演 「生涯活躍できる集落を目指して」

- 概要
- ・健康で生き生きと生活するためには、フレイルに陥らないことが大事
  - ・社会性を維持することが、口腔機能や心理状態、身体活動の機能低下を防ぐことになる

### 「地域資源の活用」セミナー (令和2年2月9日)

講演 「地域の魅力を活かす感幸地を目指して」

- 概要
- ・地域資源とは何か、人を幸せにする観光とは何か
  - ・地域の素材と光る仕掛けを掛け合わせた地域の魅力の創出

集落活性化に向けて、地域資源を生かした主体的な取り組みが、多くの集落でスタートしています。こうした集落活性化への一歩が、あわら市全体の地域活性化への大きな歩みとなるよう、市では、引き続き「集落ときめき活動事業補助金」や「まち・むらときめきセミナー」、「区長相談窓口」などを通して、課題の解決に努めてまいります。

問合せ 総務課 行政G ☎ 73-8004

